

平成31年度 事業計画

我が国の総人口は、平成16年度にピークを迎え、以降減少傾向にあります。平成30年7月1日現在では、1億2,652万9千人と前年比25万7千人の減少となっております。

一方、65歳以上の高齢者は、昭和25年以降一貫して増加し、平成30年7月1日現在3,547万1千人で、前年と比較すると45万5千人の増加となっております。阿賀野市においても同様で、65歳以上の高齢者は平成30年12月31日現在13,682人で、前年と比較すると約200人増加しており、高齢化は深刻な問題となっております。

このような経済・雇用環境が好調であることは、就業を希望する高齢者に就業機会を提供することを使命とするシルバー人材センターにとっては追い風が吹いているといっても差し支えないと考えます。

したがって、シルバー人材センターは地域社会に大きく期待され、公益法人としての役割を担う重要な責務があると考えます。

会員拡大については、役職員が先頭に立ち1役職員4名以上、1会員1名以上の新規会員加入を目標に、昨年に引き続き総会員430名達成を目指します。

就業拡大については、樹木管理、障子・襖班、除草班をより強固な組織にするべく各職群班組織の効率化と会員相互の連携を図り就業拡大に努めます。

講習会等については、昨年以上に会員のスキルアップを図るための講習会、また、県連合会と連携した講習会等を開催し、新規就業拡大に繋げるべく努力いたします。

平成31年度においても「自主・自立・共働・共助」という理念のもと、8つの基本方針を柱に公益法人として更なる発展と地域に根ざした事業運営に努めて参ります。

基本方針

1. 新規会員の加入促進
2. 就業開拓と事業拡大
3. 安全適正就業と事故防止
4. 普及啓発活動の推進
5. 技能・技術の習得と後継者育成
6. シルバー派遣事業の拡大推進
7. 健全な財政運営と事務の効率化
8. 組織体制の充実

実施計画

1 新規会員の加入促進

中高年齢者の健康と生きがい作り、また地域社会に貢献する組織として、新規会員の加入促進を図り総会員数430人を目指します。

- (1) 役職員を先頭に、会員による新規会員の加入促進
- (2) センター機関紙等による新規会員の加入促進
- (3) 毎月1回入会希望者説明会の開催
- (4) 女性会員の新規会員の加入促進

2 就業開拓と事業拡大

- (1) 企業及び公共施設の受託事業による就業機会の拡大
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業への取り組みによる就業拡大
- (3) 役員、会員による積極的な就業機会の開拓（1会員1就業開拓の推進）
- (4) 広報、口コミ等により受注の拡大
- (5) 就業会員のローテーションにより、公平な就業機会の提供を促進
- (6) 冬期における就業の開拓

3 安全適正就業と事故防止

- (1) 安全委員による安全パトロールの強化
- (2) 安全講習会の開催及び安全啓発
- (3) 会員のための救急救命講習会の開催
- (4) 就業実態の再点検を実施し、受注内容に応じて請負・委任、派遣事業など適正な就業形態での就業を推進

4 普及啓発活動の推進

- (1) 「シルバー阿賀野」及び「うるめ」の発行
- (2) 地域住民、事業所等へのリーフレット配布の実施
- (3) 市報「あがの」等、報道機関への情報提供
- (4) 「シルバーの日」を設定し、ボランティア活動と普及啓発の実施
- (5) ホームページを活用し、センターの情報公開及び事業内容のPR

5 技能・技術の習得と後継者育成

- (1) 技能、技術の向上と後継者育成を図るため、各種講習会を実施
- (2) 接遇研修による会員のスキルアップとサービスの向上

6 シルバー派遣事業の拡大推進

- (1) 発注者の様々なニーズに応えるため、派遣事業に取組み、会員就業の場を確保する
- (2) 専任担当職員を配置し、派遣事業の拡充、健全な推進を図る
- (3) 派遣業務拡大について、会員ニーズ及び発注者ニーズに沿った適切な対応を図る

7 健全な財政運営と事務の効率化

- (1) 事務処理の見直しを図り、効率的な事業運営に努める
- (2) 中期計画の実践と検証
- (3) 関係機関との連携強化

8 組織体制の充実

- (1) 地域班長会議の開催
- (2) 職群班会議の開催
- (3) 職群班組織強化による就業拡大
- (4) 各種委員会の開催
- (5) 地区別懇談会の開催